

貯 法：室温保存
有効期間：3年

ヘキサミン注射液

ヘキサミン静注液2g「ニッシン」

処方箋医薬品^{注)}

Hexamine Intravenous Solution 2g “NISSIN”

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

承認番号	22000AMX0210000
販売開始	1965年10月

2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）
- 2.1 腎不全のある患者 [9.2.1参照]
- 2.2 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.3 尿をアルカリ性にする薬剤を投与している患者 [10.1参照]

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	ヘキサミン静注液2g「ニッシン」
有効成分	ヘキサミン2g（1管5mL中）
添加剤	—

3.2 製剤の性状

販売名	ヘキサミン静注液2g「ニッシン」
性状	無色澄明の液（水性注射剤）
pH	約9
浸透圧比	約11（生理食塩液に対する比）

4. 効能又は効果

尿路感染症（膀胱炎、腎盂腎炎）

6. 用法及び用量

ヘキサミンとして、通常成人1日1～2gを静脈内注射する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.2 腎機能障害患者

9.2.1 腎不全患者

投与しないこと。体内に蓄積し、毒性を示すおそれがある。[2.1参照]

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には投与しないことが望ましい。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

10. 相互作用

10.1 併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
尿をアルカリ性にする薬剤 炭酸水素ナトリウム（重曹）等 [2.3参照]	本剤の効果が減弱することがある。	本剤は酸性尿（pHが5.5以下）中で抗菌作用を発現するが、尿をアルカリ性にする薬剤は本剤の作用を減弱させる。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹等
泌尿器	頻尿、蛋白尿、血尿

14. 適用上の注意

14.1 薬剤調製時の注意

寒冷時に結晶を析出することがあるので、このような場合には体温程度に加温溶解の後使用すること。

14.2 薬剤投与時の注意

静脈内投与にあたっては、できるだけゆっくり投与すること。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

ヘキサミンは尿中で分解してホルムアルデヒドを遊離し、尿に防腐性を与える¹⁾。

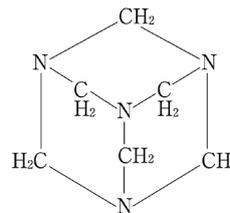
19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：ヘキサミン（Hexamine）

化学名：1,3,5,7-Tetraazatricyclo [3,3,1,1³⁷] -decane分子式：C₆H₁₂N₄

分子量：140.19

構造式：



性状：無色の光沢のある結晶又は白色の結晶性の粉末で、においはない。水に溶けやすく、エタノール（95）にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。約260℃で昇華する。点火するとき、無煙の炎をあげて燃える。

22. 包装

5mL×50管（ガラスアンプル）

23. 主要文献

1) 第八改正日本薬局方解説書。：廣川書店；1971.C1521-1523

24. 文献請求先及び問い合わせ先

日新製薬株式会社 安全管理部
〒994-0069 山形県天童市清池東二丁目3番1号
TEL 023-655-2131 FAX 023-655-3419
E-mail：d-info@yg-nissin.co.jp

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



日新製薬株式会社

山形県天童市清池東二丁目3番1号